

(教育福祉委員会要求資料)

令和3年8月
保健福祉局

- 1 敬老乗車証制度見直しに係る試算について
- 2 京都市財政規模及び市バス・地下鉄等の運賃について
(敬老乗車証制度創設当時と現在の比較)
- 3 感染拡大に応じた職員体制について

1 敬老乗車証制度見直しに係る試算について

1 試算の前提条件

- (1) 令和2年度予算額を用いて試算。
- (2) 交付者数は、令和2年10月末時点の交付者数を用いる。
- (3) 交付率は変動しないことを前提に試算。

2 令和2年度予算額等

対象者数	315,097人
交付者数 (A)	149,611人
交付金額 (B)	5,904百万円
負担金等収入額 (C)	764百万円
市税負担額 (B-C)	5,140百万円

3 試算額

(1) 交付対象年齢を75歳以上に上げた場合

75歳以上対象者数	209,549人
75歳以上交付者数 (D)	96,730人
交付金額 (E=B×D/A)	3,817百万円
負担金等収入額 (F=C×D/A)	494百万円
市税負担額 (E-F)	3,323百万円

(2) 合計所得700万円未満の方のみを対象とした場合

合計所得700万円未満対象者数	308,701人
合計所得700万円未満交付者数 (G)	148,011人
交付金額 (H=B×G/A)	5,840百万円
負担金等収入額 (I=C×G/A)	756百万円
市税負担額 (H-I)	5,084百万円

(3) 負担金を2倍に上げた場合

対象者数	315,097人
交付者数 (A)	149,611人
交付金額 (B)	5,904百万円
負担金等収入額 (J=C×2)	1,528百万円
市税負担額 (B-J)	4,376百万円

2 京都市財政規模及び市バス・地下鉄等の運賃について (敬老乗車証制度創設当時と現在の比較)

1 市財政規模比較

	昭和48年度 当初予算	令和3年度 当初予算
一般財源総額	613 億円	4,359 億円

2 市バス・地下鉄等の運賃比較

		昭和48年度	現在 (令和3年7月時点)
市バス均一区間運賃		50 円	230 円
地下鉄運賃	1区	120円(※)	220 円

※ 地下鉄開業当初の昭和56年度の運賃

3 感染拡大に応じた職員体制について

1 基本体制

医療衛生企画課職員 43名（保健師等の医療専門職32名）
 民間の人材派遣職員 38名（保健師等の医療専門職24名）

2 感染状況等に応じた応援体制

(1) 職員による応援体制（平日）

最大60名（保健師等の医療専門職40名）

【昼間】

応援従事基準 (直近1週間の新規感染者数)	応援者数 の合計	本市職員	
		保健師	事務職
80名以上	5名	5名	-
150名以上	10名	10名	-
250名以上	15名	15名	-
400名以上	25名	20名	5名
650名以上	30名	25名	5名

※ 事務職については、上記とは別に事務的業務が著しく増大した場合に最大15名（昼間又は夜間）を段階的に派遣

【夜間】

応援従事基準 (直近1週間の新規感染者数)	応援者数 の合計	本市職員	
		保健師	薬獣職
250名以上	5名	-	5名
400名以上	10名	5名	5名
650名以上	15名	8名	7名

(2) 京都市版 I H E A T（市内看護系大学の教職員等）による応援体制 5名程度（保健師・看護師）

※ 直近1週間の新規感染者数が概ね300名を超える場合に派遣